

第4学年2組 算数科学習指導案

令和5年5月25日(木) 第3時限 教室

- 1 単元 垂直・平行と四角形(本時9/14)
- 2 本時の目標
定義や性質を基に平行四辺形のかき方を考え、工夫してかき、説明することができる。
(思考力、判断力、表現力等)
- 3 展開

段階	児童の活動	教師の活動
つ か む (5)	<p>1 四角形の図形の中から平行四辺形を探 す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>□ あう□ の辺が □ になっ ている四角形。</p> <p>□ あう□ の□ と□ の□ は等 しい。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に挙手した児童を指名し称賛す る。 ・児童の発言内容を□に記入し、平行四辺 形の定義について確認する。
ふ か め る (35)	<p>2 本時の学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>平行四辺形は、どんなふうにかいたらいいだろう</p> </div> <p>3 チームで問題と同じ形の平行四辺形の かき方を考える。【かかわり合いⅠ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな道具を使えばかけるのだろう。 ・長さを測っただけではかけないかな。 ・長さや角度を測るとかけそうだね。 <p>4 チームで意見を出し合い、自分たちで 考えた平行四辺形のかき方をカードにま とめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チームに人数分の平行四辺形がかかれた図 を渡す。この平行四辺形と同じ図をかくよ うに指示する。 ・作図に必要な長さや角度を考慮することが できるよう、長さや角度を記入していない図 を配付する。 ・机間指導をし、作図が進まないチームに は、最初に一つの辺をかくとよいことを 助言する。
ふ り か え る (5)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> </div> <p>5 活動4のカードを使ってクラス全体に 伝える。【かかわり合いⅡ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1つの角をかいて長さを測り、平行線を 2組かいたらできた。 ・向かい合う辺は同じ長さだから、コンパ スを使ってかいたよ。 <p>6 本時の授業で出た平行四辺形のかき方 から一つ選択してかく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平行線を使うのが一番かきやすいな。 <p>7 活動の振り返りを書く。【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・向かい合う辺が平行であることを使って平 行四辺形をかくことができた。 ・向かい合う辺の長さが等しいことを使って 平行四辺形をかくことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな平行四辺形のかき方の手順と 方法について知るために、チームの代表 者がかき方を説明するよう促す。 ◎「かき方に共通点はあるかな。」と問い、 平行四辺形の定義や性質を生かしてか いていることに気付けるようにする。 ・積極的に発言する児童を称賛する。 ・学びを整理するために、発表で出たかき方 から一つ選び、個人で平行四辺形をかく ことを伝える。 ・振り返りをノートに書くように指示する。

- 4 評価
チームで話し合ったことを基に、平行四辺形の定義を生かして図形をかき、かき方を説明することができたか。
(活動4の様子、活動6、7の記述から)